

令和四年二月鹿ノ台川柳教室誌上句会 優秀句

お題「愚痴」(連記) 川崎ちさと選

愚痴聞いてくれる友いてまた飛べる アキラ  
 愚痴自慢気づかないままエンディング 乃り子  
 お互いに元気であれば愚痴も出る 仁史  
 グチるのも不満爆発させぬ知恵 きよな  
 グチ言わぬ不平不満は別にして 千楽  
 親ガチャのはやり言葉でいなす愚痴 郁子  
 気が付けば教育的な愚痴ばかり ミノル  
 愚痴聞かせお前が好きと撫でる猫 義雄  
 むかしノロケ今は本音の嫁の愚痴 英二  
 一日の終わりはいつも愚痴と飲む 幸男  
 せめてもと母の愚痴には聞き上手 広子  
 納得せず顔が本音を語ってる 哲子  
 他人には言えない愚痴を紙に書く 基弘  
 愚痴うめる巨大な穴を掘っている よう子  
 愚痴つても新人類に届かない えいじ  
 聞き上手軽く受け容れ愚痴の闇 充  
 秀 リハビリにぐちとじまんのフルコース正 清  
 軸 捨てる場所なくてぐちまでゴミ袋 ちさと

お題「つるつる」原 広子選

風呂上り一寸ばかりの若返り ミノル  
 わかさぎが氷の穴にじゅずつなぎ ちさと  
 アイゼンをつけて氷河の浅い春 正清  
 シワないが表情薄い人工美 哲子  
 頭みて割引きにする散髪屋 充  
 氷上の鬩い汚す国家エゴ 千楽  
 つるつるの紙に離婚の判を押す ちさと  
 サクラサクまでわが家つるつる禁句です アキラ  
 磨き過ぎも嫌味ですかと嫁怒る 乃り子  
 ビリケンさん撫でられ厄を引き受ける よう子  
 ワックスで磨きあげたら夕立に 基弘  
 舌先に仕掛けあるのかよく滑る よう子  
 つるつるが楽しい雪の通学路 義雄  
 つるつるの乳児しわしわの手に眠り ミノル  
 秀 イヤヤねえ濡れた落ち葉ですべるボク 基弘  
 軸 つるつると喉すべらせたソバ懐かしむ 広子

お題「進む」播本英二選

知らぬ間によちよち歩く孫ひとつ 基弘

せつかちな梅二つ三つフライング アキラ  
 矢印に沿って進めばご斎場 正清  
 よっぱらい進む速度の遅いこと 基弘  
 人類の進化の先に待つリスク 義雄  
 過疎進み空き家の雪が屋根を越す 千楽  
 前を向き一途に今を駆け抜ける よう子  
 来た道を振り返らない進むだけ 哲子  
 断捨離を進めて過去と対話する 郁子  
 進むしか人に生まれた定めです 義雄  
 終活の進み具合が早過ぎる 広子  
 うれしさとさみしさ連れて春は行く 充  
 しんどけりや歩みを止めて深呼吸 広子  
 突っ走るあなたに欲しい句読点 よう子  
 秀 悔やんでも嘆いてみても進む古い アキラ  
 軸 団塊の世代前進症候群 英二

自由吟(共選) 前田幸男選

合格は天神様に後まかせ 充  
 宇治木津を集め悠悠桂川 千楽  
 ポインセチア今の私にない真つ赤 乃り子  
 三度目のワクチン待つて食事会 えいじ  
 気づいてよ背伸びしている露の臺 乃り子  
 忘れてる箆筒開ければ知らぬ服 きよな  
 観梅のリユックのビール出番なし アキラ  
 すり減った指紋に生きてきた証 よう子  
 厳寒に鬼は外とは忍びない 哲子  
 幸せな誤解は敢えて正さない 広子  
 速いねと言われて意識する歩幅 郁子  
 赤い糸の太さにひるむ糸切り歯 広子  
 ポマードで撫で付けた髪今何処 仁史  
 隣ウメわが家サンシユコロボです 充  
 秀 望んでもピンピンコロリひと握り えいじ  
 軸 コロナ禍に遺影写真を急ぎ撮る 幸男

自由吟(共選) 八木哲子選

コロナ禍で動きとれずにテレビ漬け 仁史  
 望んでもピンピンコロリひと握り えいじ  
 宇治木津を集め悠悠桂川 千楽  
 目には目を核には核のナンセンス 義雄  
 乱反射野仏おわす浅き春 正清  
 まだ咲かぬ桜の幹を撫でてやる 英二  
 すり減った指紋に生きてきた証 よう子

気づいてよ背伸びしている露の臺 乃り子  
 少女の未来知ったことかとコーチ言う 千楽  
 たらの芽を摘みきて山の荒ぶれる 正清  
 ポインセチア今の私にない真つ赤 乃り子  
 幸せな誤解は敢えて正さない 広子  
 春の色綻びながら雪げ水 ちさと  
 亡き人の分だけ胸にある隙間 きよな  
 秀 赤い糸の太さにひるむ糸切り歯 広子  
 軸 チョコを待つ孫の成長でも淋し 哲子

私の十句 澤山よう子選

こぼしては自分で拾う愚痴の山 広子  
 断捨離を進めて過去と対話する 郁子  
 考えて進路決めてもまだ迷う きよな  
 春の色綻びながら雪げ水 ちさと  
 アイゼンをつけて氷河の浅い春 正清  
 人類の進化の先に待っリスク 義雄  
 うすらひに鴨がたむろのもやの朝 正清  
 亡き人の分だけ胸にある隙間 きよな  
 不協和音から迷路にまっしぐら 正清  
 秀 赤い糸の太さにひるむ糸切り歯 広子

三月誌上句会 投句ㄨ 二月二十二日十七時  
 「未来(連記)」千楽 「なぜ」充  
 「歩く」乃り子 「自由吟(共選)」きよな 正清  
 各二句 メール又は封書でアキラまで

投句される方募集しています。会費は月百円。  
 自治連合会公認クラブ。楽しくやっています。

お問合せ

原 広子(西3)

(79) 0061

野々村アキラ(北2)

(090) 6961 1292

メール qgwt5hb9k@kind.ocn.ne.jp